

鴻巣市におけるレンゲ米の栽培

農場の概要

- ・地域 鴻巣市（鴻巣市特別栽培米部会）
- ・対象作物 水稻

導入した資材等

- ・レンゲ

導入の目的・ねらい

冬作にレンゲを緑肥として作付けし、水稻栽培における化学肥料を削減して環境負荷を低減する。
さらに、環境負荷低減に加え、肥料高騰対策や地域ブランド米のさらなる付加価値向上にもつなげていく。

試験概要

レンゲの耕種概要

播種期：令和6年10月中旬

播種量：4kg/10a

すき込み：令和7年4月下旬

面積・区制：20a・1区制

水稻の耕種概要

慣行の特別栽培に準じる

冬作不作付の慣行区を設置（30a）

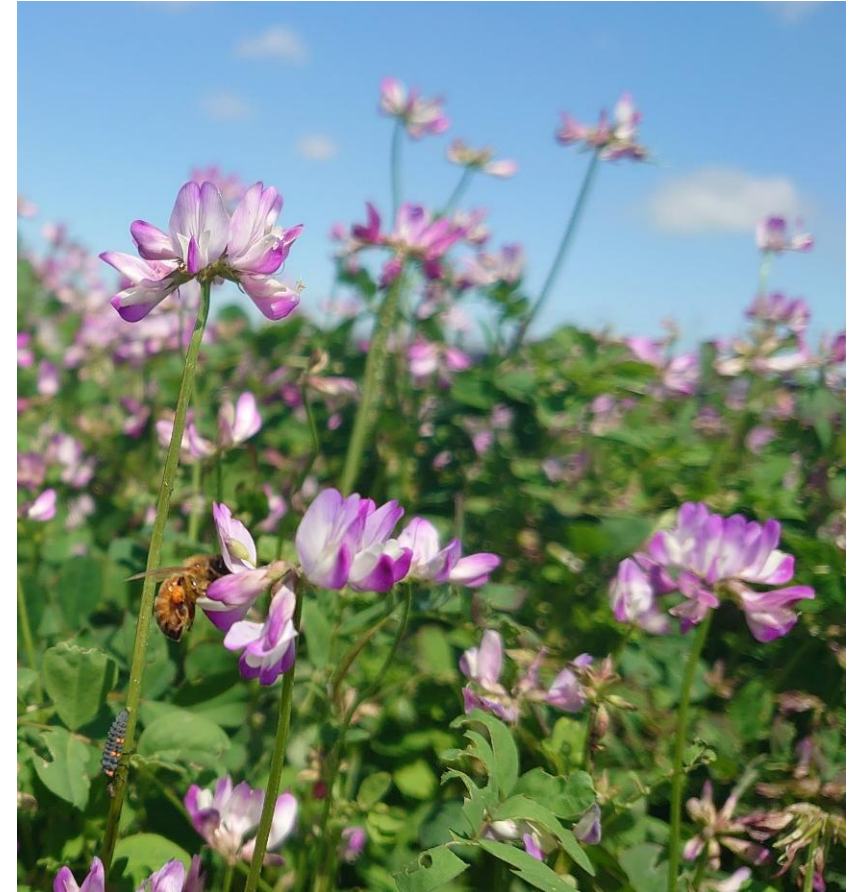


図1 レンゲの花

結果概要

4月末の生草重は6t/10aとなった。生育期間を通してレンゲすき込み区、慣行区ともに水稻の倒伏は見られなかった。また、急激な葉色の変化も見られなかった。

レンゲすき込み区はの穂数は25本/株、くず米率は5.9%で、慣行と比較し、穂数は132%、くず米率は△2.3ポイントとなった。

その結果、レンゲすき込み区の収量は501kg/10aで、慣行区の124%となる多収となった。

レンゲ緑肥活用による環境負荷低減と肥料高騰対策ブランド化などの効果を期待して、同部会では令和8年度産に向けて積極的なレンゲ緑肥活用をする運びとなった。

生産者コメント

レンゲで作った特別栽培米だと説明すると、消費者が喜んで買っていく。環境負荷低減の一環で始めたが、消費者の喜ぶ顔が見られるのは嬉しいので今後も続けたい。

問合せ先

さいたま農林振興センター

電話 048-822-1007



4月17日のレンゲの様子
(10月中旬は種)